



「チカラがつく」

Point
1

新しいことに挑戦したくなる、多彩な科目群。

幅広い好奇心に合わせた科目を設置

文学科の日本語日本文学専攻コースでは、日本の「言葉」「詩歌」「物語」「文学」、そして日本と関わりの深い「東アジア文化」という5つの柱で、多種多様な講義を受けることができます。

1 「言葉」を学ぶ

古代から現代に至る「日本語」について、言語としての歴史をさかのぼり、その変容を知るとともに、方言や言語学の基礎等を修得します。

学びのキーワード | #日本語史 #音声学 #語彙 #歌語
#言語学 #方言 #文法と作品解釈

2 「詩歌」を読み解く

文学史上の代表的な詩歌作品を分析。詩歌特有の表現形式を学び、その奥にある時代特性や精神性を読み解きます。

学びのキーワード | #和歌 #俳諧 #漢詩 #文学史 #ビブリオグラフィ

3 「物語」を理解する

文学史上の重要な物語作品を講読。物語を分析することで得られる、作品をより深く理解する力で、読解の楽しさを味わいます。

学びのキーワード | #物語 #随筆 #紀行 #文学史 #ビブリオグラフィ

4 「日本列島の文学」に触れる

琉球文学やアイヌ文学、各地の伝承文学等、日本列島のさまざまな文学・文化に触れ、広い視野で日本文学を捉えられるようにします。

学びのキーワード | #沖縄琉球文学 #伝承文学 #アイヌ文学
#昔話 #神話 #マイノリティ文学

5 「東アジア文化」を知る

日本と関わりの深い中国の文化や、書道、古典芸能、演劇等について知ることで、現代に至る文学表現の歴史を考えます。

学びのキーワード | #中国の文化 #書道 #古典芸能・演劇
#現代詩・短歌・俳句 #コミック表現

自由度の高いカリキュラムの中で、自身の興味をどこまでも広げていき、新しいことに興味を持ったり挑戦したりする「前に踏み出す力」を養うことができます。

「チカラがつく」

Point
2

社会で必要とされる能力に、直結する学び。

✓ 将来につながる大学の学び方を修得

1年次の必修科目である「ビブリオグラフィ入門」では、①わからないことを調べ、②レポート等の適切な表現方法を身につけ、③口頭で正確にわかりやすく伝える、大学での学修では勿論、社会に出てからも必要な能力と知識が身につきます。また教員と学生、学生同士での対話を通じた学修を重視し、「自分の考えを発信する力」と同時に「他者を理解する力」や「チームで働く力」が鍛えられます。



✓ 思考と成長を止めない学修環境

同じく1年次の必修科目である「リーディング日本語日本文学基礎」では、自身の発表に対する教員または学生の意見を聞き、論理的な討論を重ねることで考察を深め、より練磨された内容のレポートを作成します。こうした文章作成や発表を繰り返し行うことで、「考え抜く力」を磨くことができます。



カリキュラム

卒業標準単位数: 124 教養的科目: 22 専門科目: 102

※2023年4月1日入学者の場合。

	1年次	2年次	3年次	4年次	
	日本語学、日本文学の基礎を学ぶ 「読み、考え、まとめる」訓練を行う「読み、考え、まとめる」等の専門科目で基礎を修得します。	少数で専門科目を深く学ぶ 少数の演習形式で専門的な学びを修得しつつ、多彩な科目群から研究したい「何か」を見つけます。	興味の対象を深く学ぶ ゼミナールで専門分野の学びを徹底的に深めつつ、研究テーマの関連分野も広く学修します。	卒業論文の完成をめざす ゼミナールでの学びを軸に卒業論文に挑戦。自分の問題意識と向き合いながら集大成として完成をめざします。	
必修科目	・ビブリオグラフィ入門 ・リーディング日本語日本文学基礎	・総合演習初級1 ・総合演習初級2	・総合演習上級1 ・総合演習上級2	・卒業論文 ・総合演習上級3 ・総合演習上級4	
選択必修科目	・日本語学概論1 ・日本語学概論2 ・日本語学概論3 ・日本語学概論4 ・漢文概論1 ・漢文概論2 ・情報処理日本語日本文学1 ・情報処理日本語日本文学2	・日本古典文学史1 ・日本古典文学史2 ・日本古典文学史3 ・日本古典文学史4 ・日本近代文学史1 ・日本近代文学史2 ・日本語文法1 ・日本語文法2 ・日本語研究史	・日本語史 ・日本語特論1 ・日本語特論2 ・日本語特論3 ・日本語特論4 ・日本語特論5 ・日本語特論6 ・日本語特論7 ・日本語特論8 ・日本語特論9 ・日本語特論10	・文学理論研究1 ・文学理論研究2 ・言語論研究1 ・言語論研究2 ・日本語学概論1 ・日本語学概論2 ・日本語学概論3 ・日本語学概論4 ・日本語学概論5 ・日本語学概論6 ・日本語学概論7 ・日本語学概論8 ・日本語学概論9 ・日本語学概論10	・演習法1 ・演習法2 ・現代文芸批評1 ・現代文芸批評2 ・現代文芸批評3 ・現代文芸批評4 ・現代文芸批評5 ・現代文芸批評6 ・現代文芸批評7 ・現代文芸批評8 ・現代文芸批評9 ・現代文芸批評10 ・沖縄琉球文学2
		・書物の基礎1 ・書物の基礎2			
選択科目	・日本書道史 ・中国書道史	・伝承文学1 ・伝承文学2 ・古典文学研究1 ・古典文学研究2 ・漢学文化史1 ・漢学文化史2	・演劇文化史1 ・演劇文化史2 ・演劇文化史3 ・演劇文化史4 ・演劇文化史5 ・演劇文化史6 ・演劇文化史7 ・演劇文化史8 ・演劇文化史9 ・演劇文化史10	・メディアコミュニケーション研究1 ・メディアコミュニケーション研究2 ・メディアコミュニケーション研究3 ・メディアコミュニケーション研究4 ・メディアコミュニケーション研究5 ・メディアコミュニケーション研究6 ・メディアコミュニケーション研究7 ・メディアコミュニケーション研究8 ・メディアコミュニケーション研究9 ・メディアコミュニケーション研究10	・コミック表現研究 ・リアルワールド文化 ・マイノリティの文化1 ・マイノリティの文化2 ・日中比較文学論1 ・日中比較文学論2
		・仮名書法研究 ・漢字仮名交り書法研究 ・新書書法研究 ・忠臣蔵書道 ・書道総論			

※学部間相互履修制度がある学部もあります。詳細は各学部へお問い合わせください。 ※カリキュラムは変更される場合があります。

Point 3

教室外にも学びを広げ、学生の興味を広げる。

✓ 作者の視点に立って作品を鑑賞する

現代詩や現代短歌の実作者を講師に迎え、作品を鑑賞するだけでなく、学生自ら創作する授業を設置しており、作品をつくることの面白さや難しさを体感することができます。このように読者と作者の両方の立場を行き来することは、「他者を理解する力」の修得につながります。



✓ 日本の文化や芸術を間近で感じる

歌舞伎やミュージカル等、演劇・芸能を鑑賞する機会を設け、伝統文化や舞台芸術に肌で触れる経験を重視しています。ゼミナールによっては学修するテーマに関連した文学館や資料館、名所旧跡等をめぐる「文学散歩」が実施される等、実際に体感することで学びを深めるスタイルを重視しています。こうした活動は学生に良い刺激を与え、新たな学びの領域の開拓にもつながっていきます。



VOICE

学生インタビュー



たった一文字にでも、
考えや想いを込められるのが面白い！

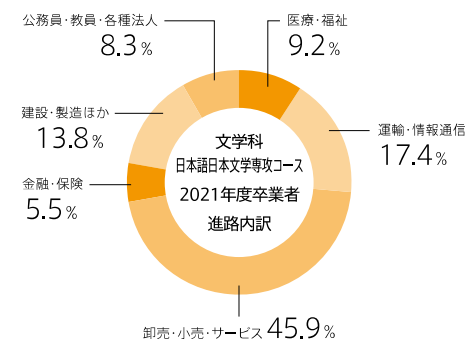
元々は日本文学に興味があったのですが、立正大学でアイヌや琉球の文化について学んでみると、人と作品が、または作品と作品が意外なところでつながっていて、その奥深さに驚いたことを覚えています。授業では人前で発表をする機会が多く、その発表テーマも自分で決められることが、言葉に想いが込めやすい。初めの頃は先生に「あなたの日本語は間違っていないが、物足りない」なんて言われてしまいましたが、表現ひとつ、表情ひとつで伝わり方が全く異なることを友人や先生の反応で知ることができ、あらためて言葉が持つ力の強さを実感しました。使える言葉が増えるということは、自分や世の中を表現する方法が増えるということ。それは就職活動だけじゃない、人生そのものを豊かにするのだと思います。時代と共に増え、変化を続ける日本語という言葉。時には間違いを直し、時にはその変化を楽しむ「言葉との付き合い方」を、深めていきたいと思っています。

文学部 文学科 日本語日本文学専攻コース 神奈川県立舞岡高等学校出身

文学科(日本語日本文学専攻コース)独自の就職サポート

社会人としての自分の将来像をイメージできるよう、公務員(警察官・教員等)、会社員(営業・開発・図書館運営等)として活躍している学科の卒業生を大学に招き、自身の経験を話してもらう「就職座談会」を開催。また当コースでは近年、教職志望の学生が増加傾向にあるため、教材研究や教育実習、さらに採用試験に関する情報共有や対策を行う「教職サークル」を新たに立ち上げました。学生同士の自主的な交流、および教員による指導体制を整えています。

※コロナ禍中休止



卒業論文テーマ

- 屏風歌の研究
- 『伊勢物語』論一「かいまみ」を中心に一
- 『源氏物語』「紫の上」について
- 酒呑童子
- 『とりかえばや物語』考
- 与那国島の伝説
- 沖縄における羽衣伝承についての研究
- 鳥尾ミホ論
- 松尾芭蕉論
- 雨と文学表現
- 上田秋成論
- 近世の言葉
- 寺山修司「あゝ、荒野」論一コミュニケーションとしてのポクシング一
- 江戸川乱歩論一「人でなしの恋」にみる「内面」と20世紀一
- 埼玉県加須市方言の現在一埼玉特殊アクセントと「へー」表現に着目して一
- 色名やことばによる連想
- 漢字の構成について ほか

免許・資格

- | 【教員免許】 | 【専門職】 | 【行政職】 |
|---|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ■ 中学校教諭一種免許状(国語) ■ 高等学校教諭一種免許状(国語) ■ 高等学校教諭一種免許状(書道) ■ 学校図書館司書教諭 | <ul style="list-style-type: none"> ■ 博物館学芸員(任用資格) ■ 図書館司書 | <ul style="list-style-type: none"> ■ 社会教育主事(任用資格) ■ 社会福祉主事(任用資格) |

詳しくはP.16～P.18へ

進路・将来像

- | | |
|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ■ 中学校国語科教諭 ■ 高等学校国語科教諭 ■ 高等学校書道科教諭 ■ 学校図書館司書教諭 ■ 官公庁 ■ 各種公務員 ■ 大学事務員 ■ 社会教育主事 ■ 社会福祉主事 | <ul style="list-style-type: none"> ■ 図書館司書 ■ 博物館学芸員 ■ 出版関連企業 ■ 広告関連企業 ■ 民間企業全般(情報通信/小売/卸売/学習支援/サービス) ■ 大学院進学・研究者 等 |
|--|--|

詳しくはP.34へ